

研究主題

運動の楽しさを味わいながら、仲間とかかわり合い、高め合う子どもを育てる体育学習

1. 研究仮説

運動の特性をふまえ、身につけさせたい技能を明確にし、仲間と言語活動を通した関わりを持たせながら学習に取り組ませることで、運動の楽しさを味わいながら、技能を習得できるのではないかと。

2. 主な活動

- (1) 郡小体研総会（5月 1日）
 - 平成26年度事業・会計報告
 - 平成27年度研究推進計画の決定および役員選出
- (2) 夏季一泊研修会参加（8月 10日・11日）
- (3) 中・四国小学校体育研究大会参加（10月 30日）
- (4) 県小体研体育部冊子「あゆみ」原稿検討会（12月25日）
- (5) 研究推進部会（随時）
- (6) 全体研修・反省会（2月）
 - 今年度の研究のまとめと活動の反省
 - 今後の研究推進について

3. まとめ

今年度は26年度に中・四体育研究大会において提案発表を行うために積み上げてきた研究内容、「効果的な指導」及び「学習課題の明確化と言語活動」を引き続き研究の柱に据えて各校の実態に合った内容で実践を積み上げてきた。

【実践とその後】 第5学年 「ハンドボール」の実践を通して

日野町立根雨小学校 稲田 修士

昨年度のハンドボールの実践（26年度あゆみに寄稿）の成果と課題をもとに今年度は学習過程を見直し、学習内容を一部入れ替えた。それは昨年度、授業後のアンケート結果から「楽しさ」「練習」などの項目が落ち込んだ時間があり、児童の実態に合っていない活動内容を実施したためであると考えたからである。今年度、改めて場の設定や活動内容などを工夫し、運動の特性や技能の習得状況に合うよう学習過程、内容を見直し、活動内容の入れ替えを行った。その結果、授業後のアンケートにおいても学習を進めるごとに運動のもつ楽しさを知り、技能の向上を蓄積していくような感覚を実感し、大きな充実感を味わっていることが確認できた。適切な学習過程の設定が児童に運動の楽しさや、喜びを与え、勢いのある体育学習になるよう後押しするものと感じた。

【今後】

平成30年度の県小体研発表大会を日野郡が担当することに加え、平成31年度中四国小学校研究大会の領域別提案者発表郡市で「からだづくり運動」に日野郡があたっていることから中四国小学校体育研究大会愛媛大会へ参加し、研修を行った。

今後、これまでの研究の積み上げのもと、研究の方向性を明確にし、さらなる実践、研究を深めていかなければならない。